

新幹線駅周辺整備のまちづくり

福井県土木部都市計画課

1. はじめに

本県では、令和6年3月16日北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、新幹線駅（芦原温泉駅・福井駅・越前たけふ駅・敦賀駅）周辺において、駅が設置される市が策定した駅周辺整備計画等に基づき、県および各市の役割分担のもと、各駅へのアクセス道路の整備、駅前広場、駐車場等の交通結節機能の強化、各駅から主要観光地等への二次交通の充実および賑わい創出につながる施設の一体的な整備を実施してきました。

2. 芦原温泉駅周辺整備

あわら市が平成18年3月に策定（平成29年3月改訂）した「芦原温泉駅周辺整備計画」に基づき、福井県の北の玄関口にふさわしい交通結節点として、また、魅力情報の発信拠点として、駅利用者の利便性の向上を図るとともに、駅周辺のさらなる賑わいを創出するため、県市がそれぞれの役割分担の下、芦原温泉駅周辺の整備を進めてきました。

県では、嶺北北部における産業、経済、文化交流の面からも重要な機能を有する幹線路線である一般県道 芦原温泉停車場線および一般県道 芦原温泉停車場北野線の道路改良や無電柱化を行いました。

JR 芦原温泉駅から東尋坊や芦原温泉へ向かう観光客の玄関口となっている一般県道 芦原温泉停車場線においては、既存の両側歩道内に電線共同溝を整備し無電柱化するとともに、車道幅員を狭めて歩道幅員を広げ、歩行者にやさしい空間を整備しました。

また、JR 芦原温泉駅と金津中部工業団地、国道8号を結ぶ一般県道 芦原温泉停車場北野線においては、防災や景観に配慮し、新設する北側の歩道内に電線共同溝を整備し無電柱化するとともに、線形改良（急カーブ解消）、右折レーンの設置、狭い片側歩道を正規の幅員を確保した両側歩道に整備しました。



【県道の整備状況】



着手前（平成30年7月）



完成時（令和5年3月）



着手前（令和2年5月）



完成時（令和5年3月）

市では、駅の東西を結ぶ自由通路の整備のほか、あわら市のランドマークとして新たな賑わい創出、魅力発信の拠点となる西口賑わい施設「アフレア」や西口・東口交通広場およびその周辺のアクセス道路の整備を行ってきており、駅西側は全て令和5年3月に完成し供用開始しています。また、民間事業者によるビジネスホテルは令和4年10月から営業開始しています。



アフレアオープン（空撮）



正面



オープン式典（テープカット）



オープン時の賑わい



3. 福井駅周辺整備

県都の玄関口となる福井駅周辺では、経済界、県、福井市による「県都にぎわい創生協議会」において、2040年を目標とした県都の将来像を構想する「県都グランドデザイン」を策定しました。駅周辺の道路空間を活用したにぎわい空間の創出による回遊性の向上、恐竜モニュメントの設置、福井城址をはじめとする歴史資源の磨き上げを図ることで、中心市街地全体の活性化に寄与するまちづくりを展開しています。

県では、中央大通り（主要地方道 福井停車場線）において、まちなかの回遊や駅周辺道路のにぎわいを創出する手法として、歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）制度の活用に向けた取り組みを実施しています。併せて、福井市では「ふくみち」と題して、道路空間にキッチンカーやカフェ、くつろぎの空間を設置した社会実験等を、令和3年10月に実施しました。その結果、歩道が多くの人で賑わうなど、憩いや賑わい空間としての需要が確認されたことから、県は令和4年3月にこの路線を県内初となる歩行者利便増進道路に指定し、令和6年2月26日特例区域指定後、同年3月7日から占用者による本格運用がスタートしました。

今後は、ふくみち対象エリアを広げ、街全体に周遊性を持たせ、にぎわい空間の創出を図ってまいります。

【県道の整備状況】



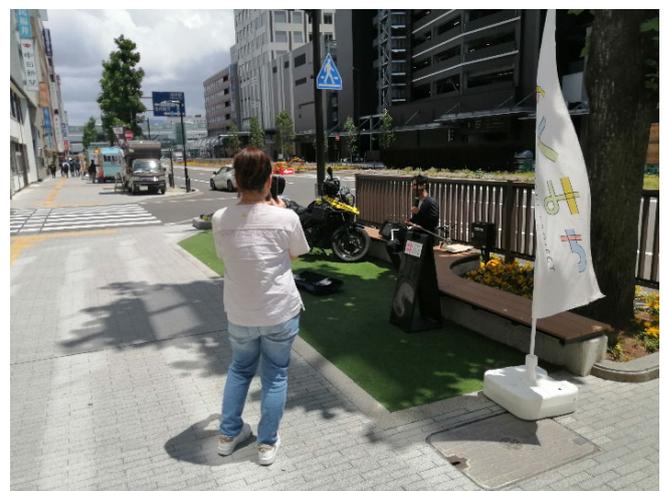
着手前



完成時



ふくみちキッチンカー出店状況



ふくみち路上演奏の様子

4. 越前たけふ駅周辺整備

福井県内の新幹線駅で唯一の既存駅に併設しない新設駅となる越前たけふ駅周辺においては、越前市が平成 27 年度に策定した「北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画」に基づき、「交流促進の起点～駅周辺地域丹南地域の人・自然・伝統・文化とのふれあいによる新たな出会い～」をコンセプトとして、交通結節点となる位置を活かし駅周辺の賑わいを創出するため整備を進めてきました。

県では、越前たけふ駅と国道 8 号を結ぶ東西アクセス道路である一般県道 越前たけふ駅線および駅と武生インターチェンジを結ぶ南北アクセス道路である主要地方道 武生インター線を新たに整備しました。

また、県内では 19 番目、越前市内では初となる道の駅「越前たけふ」について、当箇所は武生インターチェンジや一般国道 8 号が近接する広域交通の結節点であることから、交通事故の抑止や安全な道路交通環境の確保を図るため、県は簡易パーキングエリアや休憩施設を、市は広域交流の起点として周辺観光地への誘客や地域活性化を図るための地域振興施設を整備しました。

そのほか市では、駅西側に駅前広場や多目的広場、駅東側に P&R 駐車場を整備し、これら施設は令和 5 年 3 月に全て完成し供用開始しました。



越前たけふ駅周辺の整備状況



一般県道 越前たけふ駅線



主要地方道 武生インター線



オープン式典（テープカット）



オープン時の賑わい



夜間の様子（建物全景）



夜間の様子（道路管理施設）

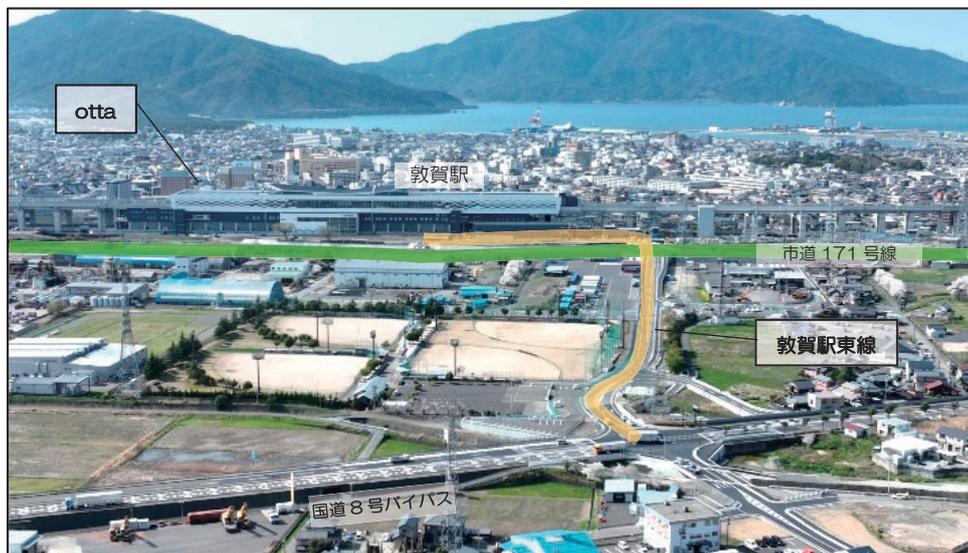
5. 敦賀駅周辺整備

敦賀駅周辺においては、平成18年度に設置された「駅周辺整備構想策定委員会」による報告書に基づき、既存駅の在来線改札のある駅西地区では交流施設など、新幹線駅が建設される駅東側ではアクセス道路や駅前広場などの整備を進めてきました。

県では、敦賀駅と国道8号バイパスを結ぶ駅東側のアクセス道路である都市計画道路 敦賀駅東線の道路新設工事を行い、令和5年3月には国道8号バイパスとの交差点部から市道171号線間の供用を開始しました。

市では、駅西側で民間事業と連携し、交流施設「オルパーク」や公園・広場、知育・啓発施設、ホテル・飲食店を備えた「TSURUGA

POLT SQUARE otta（オッタ）」（令和4年9月供用開始）の整備を行いました。また、駅東側では、駅前広場、緑化空間、駐車場、周辺アクセス道路を整備し、令和6年3月に供用開始しました。





一般県道 敦賀駅東線



otta オープン式典 (テープカット)



賑わいを見せる otta



賑わいを見せる otta

6. おわりに

県では、これまでアクセス道路などの基盤整備を、市では主に賑わいを生み出す施設の整備を進めてきました。完成した施設については、開業から継続して各種イベントが開催され、たくさんの方に訪れて頂き、多くの賑わいが生み出されています。

今後も引き続き、新幹線駅を中心とした賑わいの創出や、福井県の魅力向上に寄与できるよう関係市等と緊密な連携をとり続けていきたいと考えています。